

# ならわ まち歩きマップ

家康が三度訪れた常楽寺のあるまち。  
室町時代に建立されたお寺や路地を巡って歩こう！

今から500年以上前の室町時代。このあたりは浜辺に近く、潮風香るのどかな田園風景が広がっていました。



成岩（ならわ）は江戸時代初期には知多半島で最大の農村だったといわれる地区です。

江戸から昭和にかけて製塩、醸造、木綿業で栄え、まちは大きく成長してきました。

今も大切に守り続けられるお寺、古いまち並み、地名などに、

当時に思いを馳せながら歩いてみませんか。



## 広域マップ



＼まち歩きにオススメ！/  
東郷町～成岩本町  
エリアは中面へ！



## まちの記憶スクラップ



成岩城跡

城は鳳出観音教会から神戸川を挟んだ南の丘に建っていたそうです。



旧成岩町役場

旧成岩町役場。現在の成岩本町公園にありました。1937年に半田・亀崎・成岩が合併し半田市発足。



成岩橋

1930年4月成岩橋が完成。渡り初め式の様子です。まだ舗装もされていない時代です。



塩田跡(成岩塩)

成岩本町には製塩所があったそう。浜辺の新鮮な塩はどんな味だったでしょう。



成岩ヶ浜

1941年ごろの成岩ヶ浜。遠浅で波穏やかな海水浴場として多くの人たちに親しまれていたそうです。



尾張製煎

尾張製煎合資会社(尾張製粉の前身)は1908年設立。小麦粉の製造は1920年から始まりました。

※写真は半田市誌資料編より転載

## “ならわ”の魅力発掘 プロジェクト進行中!!



ふるさと新発見事業の一環で、成岩児童センターのママさんサークルの方々とともに「ならわまち歩きマップ」を作成しました。この事業は、平成30年度から5年間、成岩地区の皆さんと一緒に、地域の魅力を発掘し、盛り上げていく事業です。あなたが知っている成岩の“へえ〜”と思うネタがありましたら、ぜひ半田市へお寄せ下さい!!

お問合せ／半田市企画課 TEL:0569-84-0605



まち歩きは、観光ボランティアガイドによる案内も可能です。ご希望の方は、半田市観光協会  
TEL:0569-32-3264  
までご連絡ください。